

ミニディスクロージャー誌 2025.9

MINI DISCLOSURE

トモニホールディングスグループの「^{いま}現在」をお届けします。



 徳島大正銀行 |  香川銀行

トモニホールディングスが目指す10年後の姿

やっぱり“トモニ”を選んでよかった と言われる広域金融グループ

すべてのステークホルダーの皆さまに対して、
より高い価値を、より速く、より広く提供し、
ともに成長を紡いでいく

トモニホールディングスは、徳島大正銀行と香川銀行の銀行持株会社です。

平成22年に徳島銀行（現・徳島大正銀行）と香川銀行の経営統合による銀行持株会社として全国で7番目に設立されました。また、平成28年には、関西が拠点の大正銀行を完全子会社化（令和2年に徳島銀行と合併）し、地域金融機関としては珍しい「広域金融グループ」となりました。それぞれの銀行の成長が相乗効果を生み、グループとして企業価値・株主価値の向上を実現していきます。

代表取締役社長 兼 CEO

中村 武



設立日

平成22年4月1日

所在地

香川県高松市亀井町7番地1

主な銀行子会社

徳島大正銀行・香川銀行

資本金

302億円

店舗数

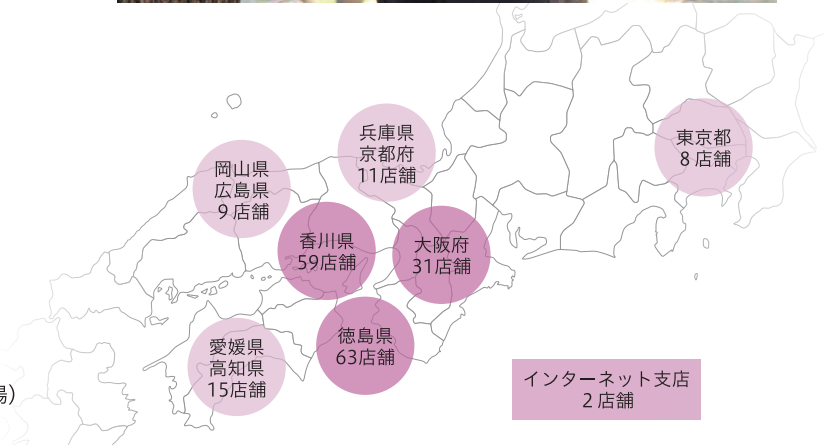
198店舗（うち出張所16店舗）
（銀行子会社単体合算）

従業員数

2,234名

上場市場

東京証券取引所（プライム市場）





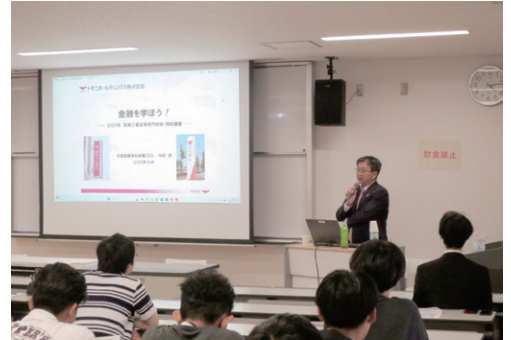
TOPICS 1

地域の学生を対象とした金融セミナーを実施しました

当社グループでは、地域経済を支える人材育成の一環として、令和7年10月に阿南工業高等専門学校において学生を対象に金融セミナーを開催しました。

このセミナーは、地域の大学及び高専と締結している「持続可能な地域経済の発展に係る連携・協力に関する協定書（略称：地域とともに産学連携）」に基づき実施したもので、当社グループの取組み等を通じて見えてくる地域金融機関の役割やポテンシャルについて、基礎的な金融知識の習得だけでなく、銀行をより身近なものとして感じてもらうことを目的としています。

当社グループでは、持続可能な地域経済の発展に貢献するため、相互に連携・協力し、地域経済の活性化や人材育成等に取り組んでいます。



TOPICS 2

お取引先の売上拡大支援をしています

当社グループの徳島大正銀行及び香川銀行は、東京交通会館の1階に常設しているアンテナショップ「徳島・香川トモニ市場～ふるさと物産館～」の運営支援等を通じて、当社グループのお取引先や徳島県・香川県の優れた特産品の販売・PR及び地域の情報発信を積極的に行っています。

その施策の一環として令和7年11月には、徳島・香川「トモニマルシェ」を開催するとともに、1年間のご愛顧に感謝を込めてアンテナショップ店舗内にて「トモニ市場感謝祭」を実施しました。

当社グループでは、お取引先の売上拡大を支援するとともに、地域金融グループとして地域経済の活性化に努めています。



徳島大正銀行

TOPICS 1

徳島大正銀行 及び 徳島大正銀行子会社「とくぎんトモニリンクアップ」 ～自治体と連携協定を結び、地域活性化に取り組んでいます～

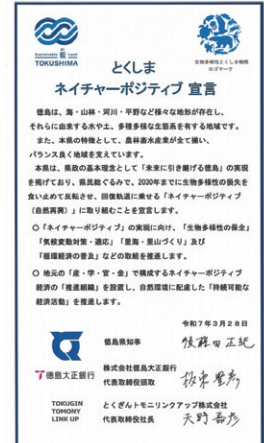
徳島県

「自然環境に配慮した持続可能な経済活動の推進に関する連携協定」の締結 及び「ネイチャーポジティブ宣言」の表明

ネイチャーポジティブの実現に向けて、「生物多様性の保全」「気候変動対策・適応」「里海・里山づくり」「循環経済の普及」など、自然環境に配慮した持続可能な経済活動を、徳島県内全域で推進していきます。

連携協定に基づく取組みとして、産学官金で連携する「徳島ネイチャーポジティブ経済移行推進本部」を設立しました。研修会の開催や、事例調査、経済効果の算定を行い、県内事業者のネイチャーポジティブな取組みを支援していきます。

ネイチャーポジティブ（自然再興）



TOPICS 2



サステナビリティへの取組み

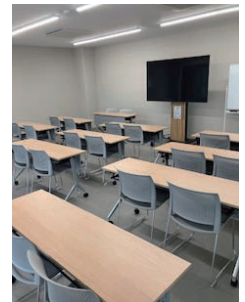
～「ZEB Ready」認証を取得した環境にやさしい店舗をオープン ～「EV急速充電設備」・「地域開放スペース」の利用を開始～

令和7年4月、カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素への取組みの一環として、高断熱・高効率の省エネルギー仕様を採用し「ZEB Ready」の認証を取得した国府支店を新築オープンしました。



10月には、四国の金融機関で初めて駐車場に設置した「EV急速充電設備」、及び店舗2階に設けた「地域開放スペース」のお客さま利用を開始しました。

地域の経済発展やサステナビリティ向上を目指し、地域に根差したサービスの提供を継続するとともに、環境に配慮した設備の導入を図り、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



香川銀行

TOPICS 1

シップファイナンス室を新設！ ～船舶分野への取組みを強化～

令和7年6月、海運業及び地域経済のさらなる発展を支援するため、融資部内にシップファイナンス室を新設しました。円安を背景に近年需要が高まっている船舶融資について、当室の開設により審査や管理方法の高度化を図ります。

また、長年船舶業界に携わってきた経験豊富な行員や、外部出向で専門知識を習得した行員を配置し、より専門的かつきめ細やかなサポートを提供できる体制を整えています。



TOPICS 2

ハンドボールチーム 「香川銀行GiraSol kagawa (シラソル)」 国スポ県勢初優勝！



創部30年を超える歴史を持つシラソルは、令和7年10月に開催された第79回国民スポーツ大会に香川県代表として出場し、香川県勢初の優勝を果たし、日本一に輝きました。

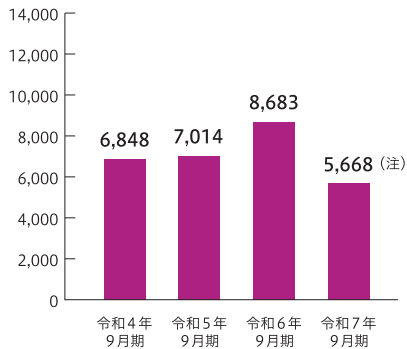
また、チームは子どもたちに向けたハンドボール教室開催や地域のイベントに積極的に参加し、スポーツを通して地域に元気を届けています。



業績ハイライト

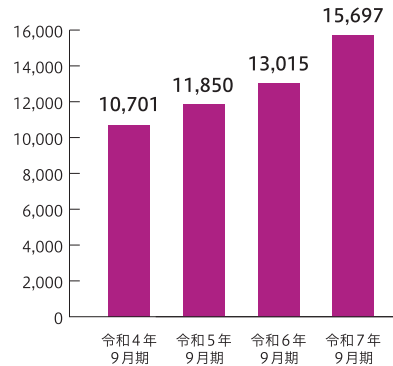
親会社株主に帰属する中間純利益(連結)

(単位:百万円)



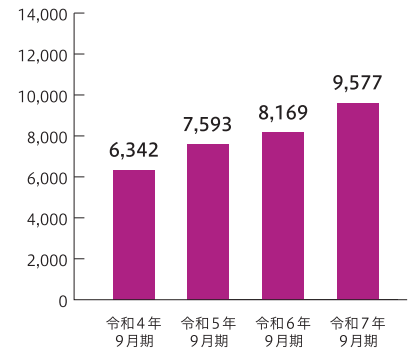
コア業務純益(銀行子会社単体合算)

(単位:百万円)



本業利益(外貨調達コスト控除後)(銀行子会社単体合算)

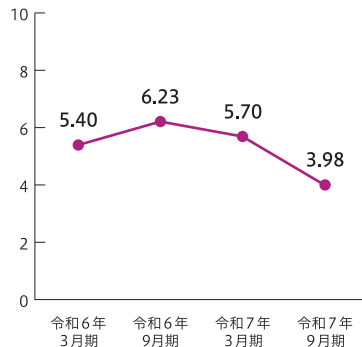
(単位:百万円)



(注) 与信関連費用の増加が減益の主因。令和8年3月期の予想は最終ページに記載しています。

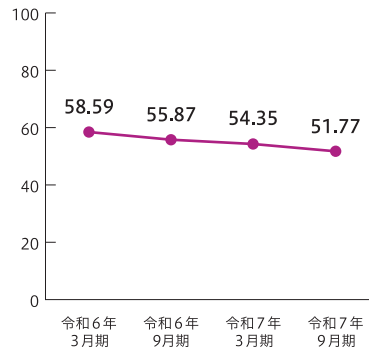
ROE(連結)

(単位:%)



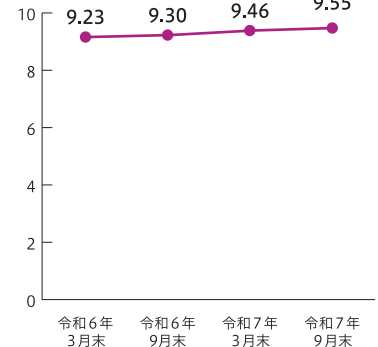
コア業務粗利益OHR(銀行子会社単体合算)

(単位:%)



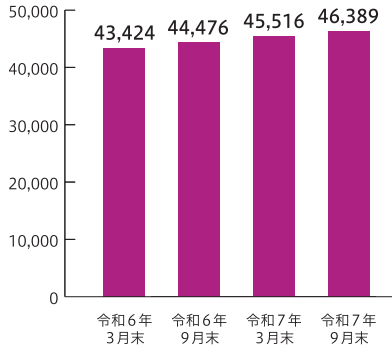
自己資本比率(連結)

(単位:%)



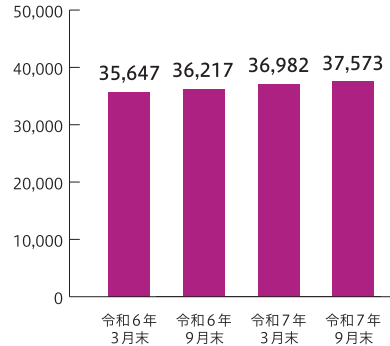
預金等残高(銀行子会社単体合算)

(単位:億円)



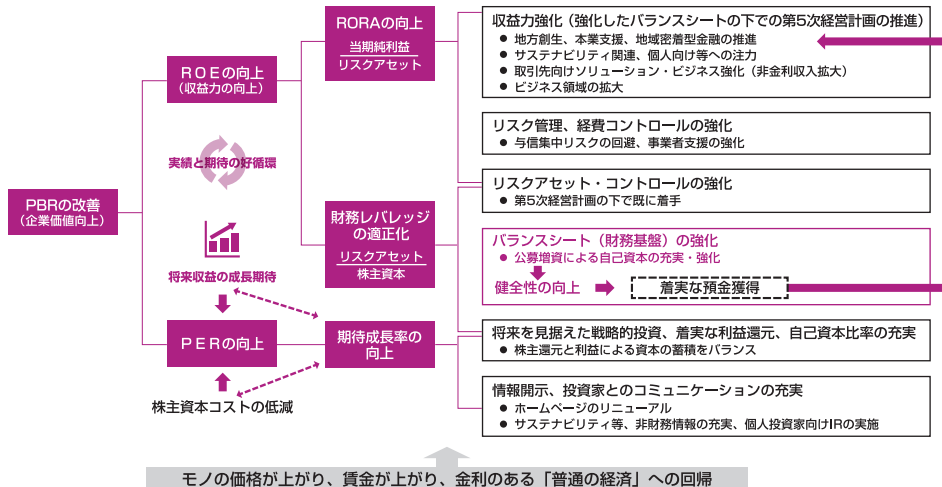
貸出金残高(銀行子会社単体合算)

(単位:億円)



企業価値の向上に向けた要因分析と対応策

当社は資本コスト、資本収益性及び市場評価に関する現状分析・評価の下、持続的な企業価値向上に向けて様々な取組を行うことで、資本コストや株価を意識した経営の実現を目指しています。

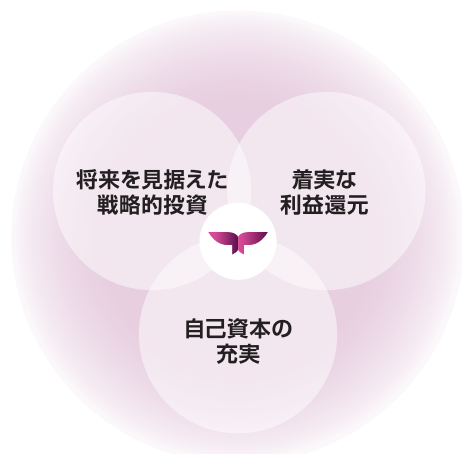


株主還元方針

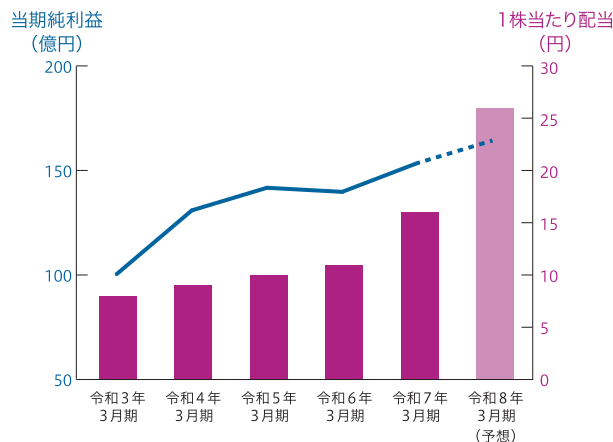
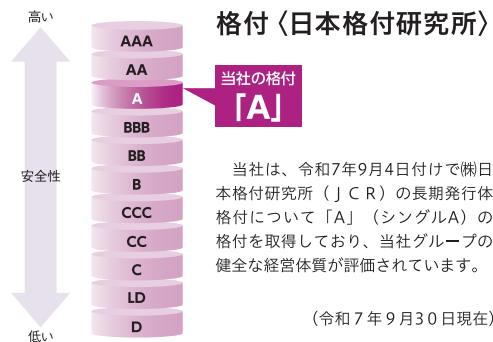
トモニホールディングスは、徳島大正銀行及び香川銀行の銀行持株会社として、東京証券取引所（プライム市場）に上場しています。



徳島大正銀行 | 香川銀行



トモニホールディングスは、利益の状況や自己資本の状況等を踏まえつつ配当水準の安定維持に努め、安定のかつ持続的な株主還元を目指しています。



令和8年3月期通期の当期純利益は、順調な本業利益に加え、有価証券関係利益の計上等により第5次経営計画の目標（148億円）を上回り、過去最高益（経営統合に伴う負ののれん発生益を除く。）165億円を計上する見通しであり、年間配当も1株あたり26円を予定しています。

株式に関する情報はこちら



トモニホールディングス 株式会社

香川県高松市亀井町7番地1 TEL (087) 812-0102 <https://www.tomony-hd.co.jp/>

株式会社 徳島大正銀行

徳島県徳島市富田浜1丁目41番地 TEL (088) 623-3111 <https://www.tokugin.co.jp/>

株式会社 香川銀行

香川県高松市亀井町6番地1 TEL (087) 861-3121 <https://www.kagawabank.co.jp/>

発行／令和7年12月

- 本誌は令和7年11月11日発表の決算短信に基づいて作成しています。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

この印刷物は大豆インキで印刷しています。

